

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月9日

上場会社名 東京製綱株式会社
 コード番号 5981 URL <http://www.tokyoropeco.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中 重人
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 佐藤 和規
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東大

TEL 03-6366-7777

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	59,249	—	2,444	—	1,917	—	104	—
20年3月期第3四半期	54,770	9.9	2,248	△16.9	1,751	△28.2	557	△55.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	0.70	0.70
20年3月期第3四半期	3.69	3.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	110,739	43,842	37.2	282.00
20年3月期	108,303	45,976	40.0	287.55

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 41,209百万円 20年3月期 43,313百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 平成21年3月期の配当予想については、今後の需要動向など経営環境の変化を見極める必要があると判断されるため現時点では未定とし、経営成績への影響の見通しが立ち次第、公表する予定であります。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	2.0	3,500	△13.8	2,800	△16.1	700	△38.1	4.79

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 162,682,420株 20年3月期 162,682,420株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 16,551,636株 20年3月期 12,052,817株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 149,593,282株 20年3月期第3四半期 151,178,215株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 上記資料は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提条件等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、各国の株価の大幅下落や米国の金融機関の破綻など大きな金融危機の影響が实体经济に波及し、世界同時不況に陥りました。わが国経済も、急激な生産調整により企業業績や雇用情勢が悪化するなど、深刻な状況に至っております。

当社グループを取り巻く事業環境も、当第3四半期後半から需要が落ち込んできており、一段と厳しさが増しております。

このような事業環境の中、当社グループはエレベーターロープやソーワイヤ等の底堅い需要を確実に捉えた営業・生産活動の展開に加えて、各事業分野の需要動向に対応した収益改善施策の実施を進めております。

その結果、販売面では、出荷数量が前年同期に比べ減少したものの、原燃料および材料価格の高騰に対応して製品価格の改定を行ったことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は59,249百万円と前年同期比8.2%の増収になりました。

利益面では、原燃料および資材の価格高騰の影響があったものの、売上増に伴う増益要素が大きく、営業利益は2,444百万円(前年同期比8.7%増)、経常利益は1,917百万円(前年同期比9.5%増)となり、四半期純利益については投資有価証券評価損や土地売却に伴う減損処理により104百万円(前年同期比81.2%減)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

(鋼索鋼線関連事業)

鋼索・鋼線部門では、販売数量が国内・輸出とも前年同期から減少しましたが、金額面では、主要材料である線材価格の値上げなどに対処すべく一部製品価格の改定を実施したことにより、前年同期に比して増加いたしました。

スチールコード部門では、ソーワイヤの拡販並びに東京製綱(常州)有限公司でのタイヤコードの出荷増などにより、販売数量は前年同期から増加しました。加えて、主要材料である線材価格の値上げなどに対処すべく製品価格の改定を実施したことにより、売上高は前年同期に比して増加いたしました。

以上により、当部門の売上高は36,062百万円(前年同期比17.3%増)となりました。

(開発製品関連事業)

産業機械部門で、ワイヤソーの売上が順調に伸びましたが、自動計量機・包装機などの売上が減少いたしました。環境建材部門では、公共工事縮減の影響で部材販売・工事ともに売上が減少いたしました。その結果、当部門の売上高は14,691百万円(前年同期比9.8%減)となりました。

(不動産関連事業)

売上高は前年同期と横這いの1,058百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

(その他の関連事業)

石油製品部門での原油価格高騰に対応した製品価格の改訂を行ったことなどにより、当部門の売上高は7,437百万円(前年同期比11.2%増加)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2,435百万円増加の110,739百万円となりました。これは、売上債権や投資有価証券が減少したものの、たな卸資産などが増加したことが主な要因であります。

負債については、支払手形・買掛金並びに長期借入金などの増加により、前連結会計年度末と比べ4,569百万円増加の66,896百万円となりました。

純資産については、株価下落によるその他有価証券評価差額金の減少や自己株式の取得などにより、前連結会計年度末と比べ2,134百万円減少の43,842百万円となりました。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第3四半期における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ15百万円減少し、1,875百万円になっております。

営業活動によるキャッシュ・フローはたな卸資産の増加があったものの、利益の計上や売掛債権の減少・仕入債務の増加などにより、2,708百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産や投資有価証券の取得などにより、2,796百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは自己株式の取得や配当金の支払があったものの、借入金の増加があり、73百万円の収入となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社を取巻く事業環境は、世界的な景気悪化が今後も継続することにより、更に厳しい状況が続くものと思われまます。

これに対し、当社グループは、各事業分野毎に今後の需要動向に対応した収益改善施策を迅速かつ確実に実行し、業績の維持に努めていく所存であります。

通期の連結業績につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績や今後の事業環境の悪化影響を勘案して、平成20年11月11日公表の業績予想を見直し、連結売上高800億円、営業利益35億円、経常利益28億円、当期純利益7億円に修正しております。

なお、当該予想に関する詳細は、平成21年2月9日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、税金等調整前四半期純利益が177百万円減少しております。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,902	1,919
受取手形及び売掛金	18,052	19,306
商品及び製品	5,915	4,448
仕掛品	7,407	4,548
原材料及び貯蔵品	3,073	2,861
繰延税金資産	1,920	1,939
その他	4,270	3,825
貸倒引当金	△132	△143
流動資産合計	42,409	38,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,181	10,168
機械装置及び運搬具(純額)	16,318	15,563
土地	20,602	20,908
信託固定資産(純額)	8,509	8,734
建設仮勘定	791	946
その他(純額)	656	686
有形固定資産合計	57,059	57,008
無形固定資産		
のれん	4	—
その他	855	904
無形固定資産合計	860	904
投資その他の資産		
投資有価証券	5,031	6,403
繰延税金資産	2,290	1,730
その他	3,313	3,811
貸倒引当金	△265	△263
投資その他の資産合計	10,369	11,682
固定資産合計	68,289	69,595
繰延資産	40	0
資産合計	110,739	108,303

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,320	15,479
短期借入金	15,696	15,461
未払費用	2,126	1,892
賞与引当金	620	1,108
その他	3,362	2,260
流動負債合計	39,125	36,202
固定負債		
長期借入金	8,310	7,000
繰延税金負債	95	26
再評価に係る繰延税金負債	7,528	7,630
退職給付引当金	3,166	2,795
役員退職慰労引当金	204	198
信託長期預り金	6,834	6,698
長期前受収益	781	802
負ののれん	—	85
その他	849	888
固定負債合計	27,770	26,125
負債合計	66,896	62,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,074	15,074
資本剰余金	8,567	8,566
利益剰余金	8,665	8,948
自己株式	△3,085	△2,317
株主資本合計	29,222	30,271
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△105	744
繰延ヘッジ損益	△4	—
土地再評価差額金	11,334	11,483
為替換算調整勘定	762	814
評価・換算差額等合計	11,987	13,042
少数株主持分	2,632	2,663
純資産合計	43,842	45,976
負債純資産合計	110,739	108,303

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	59,249
売上原価	49,228
売上総利益	10,021
販売費及び一般管理費	7,577
営業利益	2,444
営業外収益	
受取利息	28
受取配当金	134
その他	266
営業外収益合計	429
営業外費用	
支払利息	518
その他	437
営業外費用合計	956
経常利益	1,917
特別利益	
移転補償金	73
特別利益合計	73
特別損失	
たな卸資産評価損	97
減損損失	250
投資有価証券評価損	433
課徴金	72
特別損失合計	853
税金等調整前四半期純利益	1,136
法人税等	1,133
少数株主損失(△)	△101
四半期純利益	104

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,136
減価償却費	2,823
賞与引当金の増減額(△は減少)	△476
退職給付引当金の増減額(△は減少)	381
投資有価証券評価損益(△は益)	433
減損損失	250
支払利息	518
受取利息及び受取配当金	△163
売上債権の増減額(△は増加)	1,120
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,560
仕入債務の増減額(△は減少)	1,516
その他	745
小計	3,727
利息及び配当金の受取額	167
役員退職慰労金の支払額	△3
利息の支払額	△509
法人税等の支払額	△673
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,708
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△461
投資有価証券の売却による収入	82
貸付けによる支出	△69
貸付金の回収による収入	88
有形固定資産の取得による支出	△1,958
有形固定資産の売却による収入	23
その他	△502
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,796
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,170
長期借入れによる収入	1,000
長期借入金の返済による支出	△1,947
配当金の支払額	△378
自己株式の取得による支出	△789
その他	17
財務活動によるキャッシュ・フロー	73
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△32
現金及び現金同等物の期首残高	1,891
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	53
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△37
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,875

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	鋼索鋼線 関連事業 (百万円)	開発製品 関連事業 (百万円)	不動産 関連事業 (百万円)	その他の 関連事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	36,062	14,691	1,058	7,437	59,249	—	59,249
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	96	278	—	1,129	1,504	(1,504)	—
計	36,159	14,969	1,058	8,566	60,754	(1,504)	59,249
営業利益	1,221	260	609	352	2,444	—	2,444

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年10月6日および平成20年10月29日開催の取締役会における自己株式の取得決議に基づく自己株式の取得及び単元未満株式の買取等により、自己株式が前連結会計年度末から767百万円増加いたしました。

「参考」

前第3四半期に係る財務諸表等

(1) (要約)前四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額(百万円)
I 売上高	54,770
II 売上原価	45,186
売上総利益	9,584
III 販売費及び一般管理費	7,336
営業利益	2,248
IV 営業外収益	386
受取利息	23
受取配当金	109
その他	253
V 営業外費用	882
支払利息	392
その他	490
経常利益	1,751
VI 特別利益	385
投資有価証券売却益	385
VII 特別損失	613
役員退任慰労金	293
役員退任慰労引当金繰入額	174
その他	145
税金等調整前四半期純利益	1,523
法人税等	1,173
少数株主損失(△)	△207
四半期純利益	557

(2) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	鋼索鋼線 関連事業 (百万円)	開発製品 関連事業 (百万円)	不動産 関連事業 (百万円)	その他の 関連事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	30,752	16,280	1,048	6,689	54,770	—	54,770
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	119	314	—	1,230	1,664	(1,664)	—
計	30,872	16,594	1,048	7,920	56,435	(1,664)	54,770
営業利益	639	733	609	265	2,248	—	2,248

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。